

鹿児島大学病院 皮膚科 で

血管肉腫・乳房外パジェット病の診断・治療を受けた患者さんへ

鹿児島大学病院皮膚科では、以下の遺伝子解析研究を実施しております。この研究は、過去（平成16年1月1日以降）に皮膚科で生検や手術をお受けになった血管肉腫の患者さんで、診断や治療のために採取された組織の検体の余剰分を学術研究に使用することについて同意を頂いている方々の検体を分析することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

血管肉腫・乳房外パジェット病の発がんに関連する遺伝子の探索に関わる多施設共同研究

【研究機関】 鹿児島大学病院 感覚器センター 皮膚科

【研究責任者】 藤井一恭（皮膚科・講師）

【研究の目的】

血管肉腫、乳房外パジェット病は珍しい皮膚がんであり、発がんの原因や治療効果を決める要因などわからないことが多数あります。我々はこれらの疾患の原因や新たな治療法、治療法の効果を予測できる因子などを明らかにしたいと考えていますが、患者さんの数が少ないことから一つの施設での研究には限界があります。このため国内で同様の疾患を診察している複数の大学、病院と共同で研究を行いたいと

考えています。

他の皮膚癌であるメルケル細胞がんや、子宮頸がんなどではウイルス感染が発がんに関連していることが知られています。血管肉腫や乳房外パジェット病でも同様にウイルス感染の関与がないか、ウイルスに感染した細胞やがん細胞を排除する働き（免疫反応といいます）に異常が無いか、免疫反応の違いによって治療経過に違いが無いかを明らかにすることが今回の研究の目的です。

【研究の方法】

この研究では検査や手術の際に採取した組織のうち検査で使用した残りの部分を用いて、がん細胞の周りにどのような細胞が認められるのかを調べます。集めた試料（検体及び診療録のデータ）をこの研究の中心的な役割をしている京都大学に送り、免疫反応に関する分子の解析を行います。京都大学に提出する情報には個人を直接特定できる項目は含みません。なお別途お願いして書面にて同意を頂かない限り、遺伝子解析に関する研究（次世代シーケンサを用いて全エクソームシーケンス）は行いません。

●対象となる患者さん

平成16年4月から平成28年7月末までに鹿児島大学病院感覚器センター皮膚科を受診し、診断・治療のために病変を切除した血管肉腫・乳房外パジェット病の患者さんを対象としています。

●使用する検体

病理検査のための組織・細胞や手術により摘出された組織で、すでに病理検査が済んだ後の余剰分（診断や治療のために採取された検体の余剰分を使用するため、本研究による患者さんへの副作用や不利益はありません。）

●診療録（カルテ）から利用する情報

性別、発症年齢、病変の部位、誘因、発症時期、転機、遠隔転移の有無、治療経過

【個人情報取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学皮膚科学及び京都大学皮膚科の研究費で実施します。企業等からの寄付は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番地1号

鹿児島大学病院 感覚器センター 皮膚科

講師 藤井一恭

電話 099-275-5388 FAX 099-275-1134